

大手前だより

120周年式典・総会(懇親会)開催

■120周年記念事業	1	■母校探り	4	■金蘭会ホール案内	8	■卒業生の一年	13
■会員の皆様	2	■毎月の現状	6	■記念クルーズ報告	10	■会員からのお便り	14
■校長退任のご挨拶	3	■会報報告書	6	■白雲同会(1、行事、母校支援)	10	■収財会納入者一覧	18
■校長退任のご挨拶	3	■年會典・特別号・追悼号納入の本調子	6	■国際クリスマス	11		
■名簿刊行に際して	3	■年報・決算報告書	7	■学生だより	11		

10月16日(日)

金蘭会創立 120周年

記念式典・総会(懇親会)開催

大手前高女・大手前高校の同窓会である金蘭会は、本年度百二十年を迎えます。京阪中之島線が開通して便利になったリーガロイヤルホテルへぜひご参集ください。

金蘭会百二十年周年記念事業は、

①記念式典・総会(懇親会)

②記念クルーズ

③記念誌刊行

④名簿発行

⑤母校への支援(金蘭会館へのエレベーター設置)

⑥表彰・慰霊

という六つの企画で行われることになりました。

このうち「記念クルーズ」は5月19日から22日に開催され無事終了しました。(→10頁)

記念事業の概略をご紹介します。

【記念式典・総会(懇親会)】

日 時

平成二十三年十月十六日(日)

正午～午後三時

会 場

リーガロイヤルホテル

光琳の間

大阪市北区中之島五-三-一六八

電話 〇六-六四四八-一二二一

〈アクセス〉

①シャトルバス

JR「大阪」駅西側(高架南寄り)

所用時間約10分

6分間隔で運行

②京阪中之島線

「中之島」駅下車すぐ

内 容

記念式典

総会(懇親会)

歌手 木山裕策さん

(S62年卒 平成20年NHK

紅白歌合戦に出演)

母校吹奏楽部演奏

(全員着席でこゆっくりお食事い

ただけです)

会場前部屋にて物故者名簿の奉奠、

母校茶道部によるお茶席

(十一時～十二時)

記念クルーズ俳句・写真の展示を

行います。

参加申込

会費 八千円(ただし、平成の

卒業生で年会費二千元を支払ってお

られる方は五千円)

出席を希望される方は八月末日までに同封の振込用紙でお申し込みください。
*なお、一学年十五名以上出席の学年には希望により二次会の部屋を無料で準備します。

【記念名簿の発行】

五年毎に発行しております金蘭会名簿も、本年は百二十年記念名簿として発行いたします。広告の掲載(個人会員・関連事業所)、学年・グループでの祝賀広告を受け付けております。皆様の協力・ご支援をお願いいたします。

尚、名簿の購入(予約価五千円)は同封の振込用紙にてお申し込みください。

【記念誌の発行】

金蘭会百二十年年のあゆみ、特にこの十年間の金蘭会の事業などを小冊子にまとめ、十月十六日の出席者に母校の空撮写真をプリントしたクリアファイルと一緒に無料でご進呈いたします。

なお、希望者には後日千円にて販売いたします。

会長ご挨拶



会長 安橋 興二郎
(S34年)

金蘭会は、本年、創立百二十周年を迎えました。この記念すべき年に、不幸にも東日本大震災が発生し多くの方々が被災されました。心からお見舞い申し上げます。

しかし東日本にお住まいの金蘭会会

員の皆さまには、深刻な被害にあわれた方はいらっしやらないと承っており、ます。このことから、一昨年より準備を進めてまいりました百二十周年記念事業は、計画どおり実施させていただくことといたしました。

記念クルーズは、すでに五月に、瀬戸内海の芸予諸島から長崎の五島列島まで三泊四日の旅を無事終えております。

昭和十二年卒業の方から昭和四十七年卒業の方まで、二百三十名の皆さまが学年の枠を超えて金蘭会の絆をさらに強められた有意義なクルーズでした。

また、母校支援事業であります金蘭会館へのエレベーター設置もすでに完

了し、三階の生徒用LAN教室への体の不自由な生徒さんの昇降と、二階金蘭会ホールへの会員の皆様の昇降が大変楽になったと喜んでいただいております。問題はその設置費用であります。まだ相当程度不足しております。

へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年も、昨年に引き続き、一口五千円の百二十周年記念事業協賛金へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

百二十周年記念誌も、百周年、百十周年に続いて発行いたします。これまでの歴史と現状を新たな視点からとらえ編集します。ご期待ください。

校長退任のご挨拶



校長 原 田 哲 次

府立大手前高等学校在職中は、升谷前会長、安橋現会長をはじめ、役員の方々また金蘭会の会員の皆様方には大変お世話になりました。改めまして御礼を申し上げます。

在校生への様々なご支援に心から感

謝申し上げます。英国交流、集中セミナー、芸術鑑賞会、また高校生国際科学会議等々、毎年物心両面で様々なご支援をいただきました。殊に昨年は金蘭会館内にエレベーターを設置していただき、ハンデのある生徒が学習活動にしっかりと取り組めるよう利便を図っていただきましたことに、重ねてお礼申し上げます。

在職中、府立大手前高校の生徒及び教員は、歴史と伝統をしっかりと受け止めて、勉学に励み、業務に専念しているということを感じて毎日でございます。

また、金蘭会の各支部総会では、母

校へのゆるぎなき誇りと母校の更なる発展を強く願っておられる卒業生の皆様の熱い想いを強く感じました。ある総会の場では、一つのテーブルが皆さん九十歳を超えておられたことに大変驚きました。東京支部総会では白寿の堀(旧姓丸小野)朝子さんと親しくお話をさせていただき、「七十九歳からはじめたんですよ、どうぞ」と可愛いイチゴの刺繍が施されたハンカチをプレゼントしていただき感激いたしました。

私自身が多岐のことを皆様から学ばせていただいたと感謝しております。

四月から前府立春日丘高等学校校長栗山和之校長が着任されました。これ

以上、金蘭会百二十周年記念事業を中心に申しあげましたが、本年も会員の皆さまのご健勝と母校のますますの発展、金蘭会の隆盛を心から願っております。

まで同様ご支援を賜りますことをお願い申し上げます。

私は、現在、府立大手前高等学校と声が届く距離にあります。追手門学院大手前中・高等学校長として勤務しております。こちらも、戦前の大阪銀行社附属小学校の教育の流れを受け継いだ伝統ある学校でございます。お近くにお越しの折は是非お立ち寄りください。

結びに、金蘭会の皆様のご発展と皆様方のご健勝を祈念し、お礼のご挨拶とさせていただきます。

校長着任のご挨拶



校長 栗山和之

金蘭会会員の皆様には、常日頃から本校の教育活動に対し、ご支援をいただいていることにつきまして、心から感謝申し上げます。

原田校長（平成二十一・二十二年度在任）の後を受け、第二十六代の校長

として、この四月一日に赴任いたしました栗山和之です。

昨年度は、府立春日丘高校校長として、また、それ以前は、大阪府教育委員会事務局に十六年間勤務しておりました。その経験と人とのつながりを全て大手前高校のために活かしていく次第であります。

今年で創立百二十五年を迎える大阪屈指の伝統校である本校は、平成五年に理数科を設置し、理数教育にも力を注いでまいりました。その成果もあり、平成二十年度には文部科学省から、スーパーサイエンスハイスクールに指定され、未来を担う科学技術系人材を育

てることをねらいとして、理数系教育の充実にも日々取り組んでおります。

また、本年度からは大阪府の進学指導特色校（豊かな感性と幅広い教養を身に付けた、社会に貢献する志を持つ、知識基盤社会をリードする人材を育成することを目的とした十校）に指定されました。

現在の二年生・三年生の理数科・普通科、一年生の文理学科・普通科の生徒たちが、共に学び、明るく楽しい大手前高生活を送り、切磋琢磨しながら、素晴らしい飛躍を遂げてくれることを期待しております。

私が座右の銘にしていることばに「人

名簿委員会

会員名簿刊行に際して

五年毎に出しております会員名簿は本年は金蘭会百二十周年記念行事の一環として刊行されます。それに伴って会員の皆様にご協力をいただきたく、宜しくお願ひ致します。

変更の通知

住所その他に変更がありましたら必ず八月二〇日までに二報ください。届切を

過ぎますと新名簿への訂正は出来ませんのでご了承ください。

懸念事項

前回の刊行に際しては、全ての会員に意思確認のアンケートを実施しましたが、平成一九年から三年の卒業生に対しては行われていません。従って該当年度の方は以下の何れかを選んでご通知ください。

- 1 氏名、住所、電話番号、勤務先すべてを記載
- 2 氏名、住所のみ記載
- 3 氏名のみ記載
- 4 掲載拒否

広告掲載のお願い

毎回刊行の際には、会員各位および関

連事業所に広告の掲載をお願いしております。お申し出、ご紹介をいただきましたら折り返し要項を送付させていただきます。

祝賀広告にご協力を

今回も祝賀広告をお願いしています。学年とかグループ、クラス等でまとめて頂きましたら、大きく枠取りしてお名前を掲載致します。お一人でも枠取りして掲載致します。お申し出を頂きましたら折り返し振込先をお知らせしますので、一万円をお振込み下さい。後日(10月末)新名簿を一冊お送り致します。なお、その場合は本紙に同封の振込用紙で名簿を申込まれると重複して一冊届くこととなりますので、注

格の統一性の根源は、理性ではなく、心情の深みにある」があります。大手前高校においては、理性を育てていくことはもちろんでありますが、様々な経験により、豊かな人間性をさらに深めていき、生徒の人格の完成をめざすことが肝要であると考えております。

そのために教職員一同が全力で取り組んでおりますので、今後とも安齋典二郎会長のもと益々発展される金蘭会のご支援とご協力をお願い申しあげまして、着任のご挨拶とさせていただきます。

意ください。

以上の四項目に関して、お申し出、ご通知は、すべて電話、ファックス、葉書、メールの何れかでお願いします。祝賀広告は同封の申込書でも可能です。何人かのお名前を併記して下さいもかまいません。

新名簿は10月末刊行の予定です。

予約値五〇〇円(送料共)

刊行後五五〇円(送料共)です。

百二十周年の記念品として皆様どうぞ

ご購入ください。

(名簿委員会委員長

S33卒 石川 温子)

母校便り

◆本年度の人事異動(順不同)

退職された方

(講師は含まれていません)

原田 哲次 校長先生
追手門学院大手前中・高等学校校長
西井 徹 事務部長

當内 義憲 先生(社会科)
再任用として府立天王寺高校へ
安井 博司 先生(理科)
再任用として府立島本高校へ

瀬町 良雄 先生(保健体育科)
再任用として府立西野田工科高校へ
出畑 彰子 先生(保健体育科)
再任用として府立香里丘高校へ

転勤された方

谷 恵美子 先生(国語科)
府立北淀高校へ
中濱 秀徳 先生(社会科)
府教育センターへ

長谷川 幸子 先生(数学科)
府立大正高校へ
福野 勝久 先生
大教大附属平野高校へ

補任された方

栗山 和之 校長先生
府立春日丘高校より
平田 善信 事務部長
住宅経営室より

萩洲 博 主査
再任用として府立今宮高校より
中西 隆藏 先生(国語科)
府立大正高校より

田中 理絵 先生(国語科)
藤澤 浩之 先生(数学科)
府立西野田工科高校より

増本 祐司 先生(数学科)
藤原 宏枝 先生(理科)
新 任

中根 持行 先生(理科)
府立高津高校より
高森 彩子 先生(保健体育科)
府立藤山高校より

中嶋 邦子 先生(英語科)
府立西園高校より
深見 佳苗 先生(英語科)
新任

文化講演会

二〇二〇年〇月二八日(月)午後二時半から午後三時半
講師 弁護士 明賀英樹(みよがひでき)氏
〈昭和四十五年卒業〉

演題 「裁判員裁判について」
次はその講演の要旨です。

裁判員制度は重大な刑事裁判に国民が参加する制度であり、二〇〇九年五月二日に始まり、裁判員は被告が有罪か無罪か、有罪の場合は量刑を裁判官と二緒に決めます。有罪を決めるということは、検察官の立証が、合理的疑いのないまでになされたことと判断することであり、無罪はそこまで立証されていないと判断することです。

裁判員は裁判の審理に参加し、質問することもできます。裁判員はマスコミ報道に引取られるのではなく、裁判で証拠として出された事実のみをもとめて判断しなければなりません。裁判員は裁判官と共に評議・評決をして判決宣告をしますが、評決は裁判官と裁判員の原則多数決です。

刑事裁判の原則は、「無罪推定の原則」(有罪判決が確定するまで、被告人は無罪と推定される)、「疑わしきは罰せず」(疑わしきは被告人の利益に)、「十人の真犯人をのがすとも、一人の無罪を罰するなかれ」ですが、現在の刑事裁判の有罪率は九六・七パーセント以上であり、被告人が否認している事件でもほとんどが有罪です。重くない事件では起訴された後は保釈される権利があるが、実際は否認するとほとんどが保釈されません。

現在の捜査は密室で取り調べが行われ、誘導や圧力がかけられやすく、精神的に追い詰められて虚偽の自白をするケースも相当数あります。弁護士会は取り調べの全面録音・録音や弁護士立ち会いを求めています。検察庁は裁判員裁判で事実関係を認めている事件について、一部だけ録音を許可しているのが現状です。

裁判員制度の意義としては、新鮮な目で審理に参加し、刑事裁判の原則に沿った判断が期待できるという点、自白がどのような状況下で行われたかなどについて、客観的証拠が必要となり、わかりやすい裁判が実現する点、事実を各種の経験に基づきいろいろな角度から検討できる点、裁判が身近になり、司法に対する信頼が深まり主権者として自覚できる点が挙げられています。

実際、裁判員を経験した人の九六・七パーセント(平成二十一年)がよい経験だったと感想を述べ、審理内容が理解しやすかったという人が七〇・九パーセントにのぼっています。裁判員の責任は重く、負担もあるものの、裁判員制度は民主主義を維持・発展させる制度であり、歴史の英知である刑事事件の原則を具体的事件を通して守っていくことに裁判員制度の意義があります。

講演会の第二部として、明賀英樹氏と代表生徒七名による質疑応答が行われました。裁判員制度・死刑制度・弁護士という職業などに関する質問が生徒から出され、それに明賀氏がお答えになるという形で、意見が交わされ議論が深まりました。

生徒の感想

裁判員制度の具体的な仕組みなどがわかった。自分もいつか裁判員になるかもしれないから大変参考になると思った。実際に裁判員になった人たちの感想で、「裁判員の人が気をつかってくれ、皆が平等に意見を出し合える」といことが言われていた。それは非常にいいことだ。質疑応答の時間では、「刑期まで裁判員に審議させるのはなぜか」という質問が印象に残っている。自分も刑期を考えるのは難しいし、負担も大きいのではないかと思っていた。しかし刑期については、同じような資料があるなどして、きちんと配慮されていることがわかった。(二年)

一番印象に残ったのは、自分が舞台の上に立ってマイクを持って質問をしたことである。まさか自分の質問が選ばれるとは思っていなかったが、貴重な体験をさせていただいた。自分がふと疑問に感じたことが弁護士の先生に伝わり、大手前はそういう人と人との

計 報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

小野 昭平 先生(数学科)
平成二十二年九月

岡田 忠良 先生(理科)
平成二十二年十月十日

体験入学について

6月25日(土)に中学3年生対象の体験入学が行われました。10月22日(土)・12月10日(土)には中学3年生を対象に、また、2月4日(土)には中学1・2年生及び小学生を対象に学校説明会を開催します。

◆平成23年度 主な大学合格状況

東京大学	1名
京都大学	45名
大阪大学	38名
神戸大学	37名
大阪市立大学	17名
大阪府立大学	32名
大阪教育大学	12名
関西学院大学	59名
関西大学	132名
同志社大学	153名
立命館大学	152名
早稲田大学	8名
慶應義塾大学	7名

母校の現状

クラブ便り

① 部活動(重複あり)(実入部人数)

	H22年度
体育系	633
文化系	264
合計	897
加入率(%)	90%

② 部活動の主な実績(近畿大会以上)

*平成22年度

[水泳部] 全国大会・近畿大会 出場

[陸上部] 近畿大会 出場

全国都道府県対抗女子駅伝大阪府代表選手選出



SSH (スーパーサイエンスハイスクール) [H20~H24]

進学指導特色校[H23~]関連事業

- SSH講義
- サマースクール (7月)
- マスフェスタ【数学フェスティバル】(8月)
- 東京研修 (10月)
- 集中セミナー (12月)
- 高校生国際会議 (3月)

(実績)

- ※ SSH生徒研究発表大会2008
「ポスターセッション賞」
- ※ SSH生徒研究発表大会2010
「科学技術振興機構理事長賞」
- ※ 4th APEC Youth Science Festival 2010 (タイ)
数学の部一位
- ※ 全国高校化学グランプリ 2008・2009
大賞・銀賞・銅賞 受賞
- ※ 第19回日本数学オリンピック本選 2008
「成績優秀者」 受賞
- ※ 高校生国際科学会議実施 2010
(中国・韓国・タイとの共同研究・共同宣言)

母校国際交流事業「英国交流」

前回までと異なる企画がいくつかあります。まず、平成22年度一三〇〇年にあつたため、京都にかわって奈良に行き東

大寺などを訪れました。また、和太鼓を本校生と共に法被を着て演じたのも、両校生徒に好評でした。土曜日に日帰り

の国際交流事業の柱として生徒連の目を海外に向けた機会を与え続け、今年で9年目を迎えました。

平成二十二年七月六日(火)~十五日(木)には、ベングライズ校より生徒8名と付添教員2名が本校を訪問しました。

ベングライズ校生は、本校生徒9軒の家庭に滞在しました。6日はまず、体育館での歓迎式があり、大手前生に暖かく迎えられました。滞在期間中、平日の午前は本校の授業に参加したり、

ウェールズの文化や学校の紹介をしたりしてくれました。午後は本校生のサポーターと共に様々な活動を行いました。

前回は、和太鼓を本校生と共に法被を着て演じたのも、両校生徒に好評でした。土曜日に日帰り

の国際交流事業の柱として生徒連の目を海外に向けた機会を与え続け、今年で9年目を迎えました。

平成二十二年七月六日(火)~十五日(木)には、ベングライズ校より生徒8名と付添教員2名が本校を訪問しました。

ベングライズ校生は、本校生徒9軒の家庭に滞在しました。6日はまず、体育館での歓迎式があり、大手前生に暖かく迎えられました。滞在期間中、平日の午前は本校の授業に参加したり、

ウェールズの文化や学校の紹介をしたりしてくれました。午後は本校生のサポーターと共に様々な活動を行いました。

前回は、和太鼓を本校生と共に法被を着て演じたのも、両校生徒に好評でした。土曜日に日帰り

の国際交流事業の柱として生徒連の目を海外に向けた機会を与え続け、今年で9年目を迎えました。

平成二十二年七月六日(火)~十五日(木)には、ベングライズ校より生徒8名と付添教員2名が本校を訪問しました。

ベングライズ校生は、本校生徒9軒の家庭に滞在しました。6日はまず、体育館での歓迎式があり、大手前生に暖かく迎えられました。滞在期間中、平日の午前は本校の授業に参加したり、

経験になったと思います。その他、例年通り、和菓子作りや書道、大阪城見学、本校生企画による大阪案内も行いました。サポーターの希望者が多くて割り当てるのが大変でしたが、それぞれ担当する行事の企画や英語での説明プリント作りなど、よく準備してくれました。週末はホストファ

ミリーと共に奈良やUSJに行ったり、家族で近くの神社を訪れたり、家族の一員として過ごしました。十四日には金蘭会主催の送別会が金蘭会館において行われ、ベングライズ校生はお茶席も体験しながら、金蘭会員、ホストファミリーや多くの生徒とごやかに交流しました。送別会は

前回は好評であった「浴衣パーティー」としましたが、ベングライズ校生は「浴衣を着ることができてうれしかった」と感想に書いてくれていました。また、彼らは「気持ちを通じた感じで、すばらしい終わりの会だった」と思うと同時に、「お別れを言わねばならないので悲しかった」とも述べています。3月の震災時には、大阪は離れているけれども大丈夫かと心配するメールが、ホストファミリーのもとにも多数届いたと聞いております。



前回は好評であった「浴衣パーティー」としましたが、ベングライズ校生は「浴衣を着ることができてうれしかった」と感想に書いてくれていました。また、彼らは「気持ちを通じた感じで、すばらしい終わりの会だった」と思うと同時に、「お別れを言わねばならないので悲しかった」とも述べています。3月の震災時には、大阪は離れているけれども大丈夫かと心配するメールが、ホストファミリーのもとにも多数届いたと聞いております。

前回は好評であった「浴衣パーティー」としましたが、ベングライズ校生は「浴衣を着ることができてうれしかった」と感想に書いてくれていました。また、彼らは「気持ちを通じた感じで、すばらしい終わりの会だった」と思うと同時に、「お別れを言わねばならないので悲しかった」とも述べています。3月の震災時には、大阪は離れているけれども大丈夫かと心配するメールが、ホストファミリーのもとにも多数届いたと聞いております。

前回は好評であった「浴衣パーティー」としましたが、ベングライズ校生は「浴衣を着ることができてうれしかった」と感想に書いてくれていました。また、彼らは「気持ちを通じた感じで、すばらしい終わりの会だった」と思うと同時に、「お別れを言わねばならないので悲しかった」とも述べています。3月の震災時には、大阪は離れているけれども大丈夫かと心配するメールが、ホストファミリーのもとにも多数届いたと聞いております。

前回は好評であった「浴衣パーティー」としましたが、ベングライズ校生は「浴衣を着ることができてうれしかった」と感想に書いてくれていました。また、彼らは「気持ちを通じた感じで、すばらしい終わりの会だった」と思うと同時に、「お別れを言わねばならないので悲しかった」とも述べています。3月の震災時には、大阪は離れているけれども大丈夫かと心配するメールが、ホストファミリーのもとにも多数届いたと聞いております。

前回は好評であった「浴衣パーティー」としましたが、ベングライズ校生は「浴衣を着ることができてうれしかった」と感想に書いてくれていました。また、彼らは「気持ちを通じた感じで、すばらしい終わりの会だった」と思うと同時に、「お別れを言わねばならないので悲しかった」とも述べています。3月の震災時には、大阪は離れているけれども大丈夫かと心配するメールが、ホストファミリーのもとにも多数届いたと聞いております。

前回は好評であった「浴衣パーティー」としましたが、ベングライズ校生は「浴衣を着ることができてうれしかった」と感想に書いてくれていました。また、彼らは「気持ちを通じた感じで、すばらしい終わりの会だった」と思うと同時に、「お別れを言わねばならないので悲しかった」とも述べています。3月の震災時には、大阪は離れているけれども大丈夫かと心配するメールが、ホストファミリーのもとにも多数届いたと聞いております。

前回は好評であった「浴衣パーティー」としましたが、ベングライズ校生は「浴衣を着ることができてうれしかった」と感想に書いてくれていました。また、彼らは「気持ちを通じた感じで、すばらしい終わりの会だった」と思うと同時に、「お別れを言わねばならないので悲しかった」とも述べています。3月の震災時には、大阪は離れているけれども大丈夫かと心配するメールが、ホストファミリーのもとにも多数届いたと聞いております。

前回は好評であった「浴衣パーティー」としましたが、ベングライズ校生は「浴衣を着ることができてうれしかった」と感想に書いてくれていました。また、彼らは「気持ちを通じた感じで、すばらしい終わりの会だった」と思うと同時に、「お別れを言わねばならないので悲しかった」とも述べています。3月の震災時には、大阪は離れているけれども大丈夫かと心配するメールが、ホストファミリーのもとにも多数届いたと聞いております。

前回は好評であった「浴衣パーティー」としましたが、ベングライズ校生は「浴衣を着ることができてうれしかった」と感想に書いてくれていました。また、彼らは「気持ちを通じた感じで、すばらしい終わりの会だった」と思うと同時に、「お別れを言わねばならないので悲しかった」とも述べています。3月の震災時には、大阪は離れているけれども大丈夫かと心配するメールが、ホストファミリーのもとにも多数届いたと聞いております。

前回は好評であった「浴衣パーティー」としましたが、ベングライズ校生は「浴衣を着ることができてうれしかった」と感想に書いてくれていました。また、彼らは「気持ちを通じた感じで、すばらしい終わりの会だった」と思うと同時に、「お別れを言わねばならないので悲しかった」とも述べています。3月の震災時には、大阪は離れているけれども大丈夫かと心配するメールが、ホストファミリーのもとにも多数届いたと聞いております。

平成二十三年七月四日(月)~十六日(土)には、本校より生徒8名と付添教員2名がベングライズ校を訪問する予定です。本事業に対する生徒の関心は非常に高く、8名の派遣に対して1年生九十名、2年生四十名、あわせて一三〇名もの応募がありました。

会務報告書

平成二十三年年度 事業報告

一、一般事業

(1) 定時評議員会
平成二十二年四月二十四日(土)
於 金蘭会ホール

(出席五十名・委任状一〇二名 成立)

①事業報告 決算報告 承認

②事業計画 収支予算 承認

③金蘭会会則改正 承認

④金蘭会百二十周年記念事業の概要を報告

⑤金蘭会館エレベーター設置工事の予定報告

(2) 理事会

第一回 平成二十二年六月 五日(土)

第二回 平成二十二年七月二十四日(土)

第三回 平成二十二年九月十一日(土)

第四回 平成二十二年十月十七日(土)

第五回 平成二十三年一月二十九日(土)

第六回 平成二十三年三月 五日(土)

第七回 平成二十三年四月 十六日(土)

〔大手前だより〕発行

平成二十二年七月

新入会員歓迎会

平成二十二年九月五日(日)

於 金蘭会ホール

(新入会員百二十名・先生十四名 出席)

平成二十三年一月十五日(土)

於 金蘭会ホール

(来賓二名・会員五十八名 出席)

ホームページ運営

ホームページ運営

二、特別事業

母校主催事業に対する援助

母校国際交流事業に対する援助

第十三回国際ogram賞の予備選考

金蘭会セミナー開催

パソコンスクール開催運営

(6) 金蘭会百二十周年記念事業準備
金蘭会館エレベーター設置

金蘭会セミナー開催日

第二七回 平成二十二年四月 十六日(金)

第二八回 平成二十二年五月二十一日(金)

第二九回 平成二十二年六月 十八日(金)

第三〇回 平成二十二年七月 十六日(金)

第三一回 平成二十二年九月 十七日(金)

第三二回 平成二十二年十月 十五日(金)

第三三回 平成二十二年十一月十九日(金)

第三四回 平成二十三年一月二十一日(金)

第三五回 平成二十三年二月 十八日(金)

第三六回 平成二十三年三月二十五日(金)

平成二十三年年度 事業計画

一、一般事業

(1) 定時評議員会

平成二十三年四月二十三日(土)

於 金蘭会ホール

〔大手前だより〕発行

平成二十三年七月

新入会員歓迎会

平成二十三年九月四日(日)

於 金蘭会ホール

平成二十四年一月二十一日(土)

於 金蘭会ホール

ホームページ運営

金蘭会セミナー開催

パソコンスクール開催運営

二、特別事業

金蘭会百二十周年記念事業

金蘭会百二十周年記念式典・総会(懇親会)

(平成二十三年十月十六日 リーガロイヤルホテル)

金蘭会百二十周年記念母校支援

金蘭会館エレベーター贈呈

金蘭会百二十周年記念グッズ平成二十三年

五月十九日(土) 養子路局&五島列島

金蘭会百二十周年記念誌刊行

金蘭会百二十周年記念名簿刊行

金蘭会百二十周年記念表彰・慰霊

母校主催事業に対する援助

母校国際交流事業に対する援助

第十三回国際ogram賞最終選考と贈呈

役員選出委員会設置

三、理事会開催予定日

第一回 平成二十三年五月二十八日(土)

第二回 平成二十三年七月二十三日(土)

第三回 平成二十三年九月 三日(土)

第四回 平成二十三年十月十六日(土)

第五回 平成二十四年一月二十八日(土)

第六回 平成二十四年三月 三日(土)

第七回 平成二十四年四月 十四日(土)

四、金蘭会セミナー開催予定日

第一四七回 平成二十三年四月 十五日(金)

第一四八回 平成二十三年五月二十七日(金)

第一四九回 平成二十三年六月 十七日(金)

第一五〇回 平成二十三年七月 十五日(金)

第一五一回 平成二十三年九月 十六日(金)

第一五二回 平成二十三年十月二十一日(金)

第一五三回 平成二十三年十一月十八日(金)

第一五四回 平成二十四年一月 二十日(金)

第一五五回 平成二十四年二月 十七日(金)

第一五六回 平成二十四年三月二十三日(金)

付5-1 126周年協賛会入金状況(平成22年度)

単位(円)			
7月	381	390	1,440,000
8月	280	398	1,090,000
9月	80	217	1,085,000
10月	34	41	205,000
11月	11	16	20,000
12月	19	31	155,000
1月	9	10	50,000
2月	3	7	35,000
3月	3	2,6	13,000
累計	655	1,018,0	6,095,000

付5-2 126周年記念事業支払状況(平成22年度)

単位(円)			
エレベーター本体(3名用)			5,295,000
エレベーター設置工事(3名用)			7,875,000
エレベーター工事管理費			105,000
エレベーター内装金庫工事			92,500
販売手数料			4,500
エレベーター日録・ゆうびん			1,340
諸費用(印紙等)			640
計			13,718,000

3月31日現在の協賛金不足額 6,619,000

金蘭会活動を支えるのは

みなさまの年会費です

東日本大震災に被災されたみなさまには心よりお見舞い申し上げます。会員の方で亡くなられた方が居られなかつたのは、なによりでした。

今年も、金蘭会創立百二十周年ということですが、昨年よりみなさまに大変ご無理をお願いしております。記念事業として、金蘭会館の三階にありますし、AN教室へ車イス利用の生徒の一助としてエレベーターを寄贈いたしました。

在学中の生徒が少しでも早く利用できるようにと、昨年夏休み中に工事し九月に完成しました。金額が大きくなりますので、昨年及び今年の百二十周年協賛金と、百二十周年基金で、記念事業を円滑に行いたいと考えております。

別掲の記念事業予算の通り四百七十万円ほど今年の協賛金にお願いしなければならぬ状況です。「大手前だより」が届いていない方に金蘭会の「ホームページ」を紹介いただき、より多くの方にご協力いただけるようお願いいたします。

さて、昨年は、2486名の皆様に年会費¥2000(卒業後五年間は免除)を納めていただきありがとうございました。

今年度も、平成十八年までに卒業された皆様の協力をお願いいたします。また、九年前よりの新たな賛助金(二口¥2000)の呼びかけにも、昨年は897口もの厚意を頂戴いたしました。本年にありがとうございました。

年会費(¥2000)、賛助金(二口¥2000)、百二十周年記念事業協賛金(二口¥5000)は、「大手前だより」に同封の振込用紙をご利用下さい。

(会計理事 S40卒 田原由夫)

振込はATMをご利用ください

平成23年度予算

一般会計

(1) 収入の部

単位(円)

入会金	1,400,000	65000
登録料	1,400,000	65000
名簿売上	5,000,000	62000
会費料用科・他	250,000	
財団法人金庫会補助金	0	
寄附金	-	
(小計)	18,050,000	
前年度繰越金	21,733,863	
合計	39,783,863	

(2) 支出の部

単位(円)

運営費	3,378,500	
事務用品費	2,678,500	
会議費	200,000	理事会,評議委員会,青年委員会
雑費	300,000	卒業式の祝賀会,役員祝賀会
一般事業費	3,858,000	
大手前日より発行費	2,500,000	
新入会員歓迎会	450,000	
1丁間費	600,000	
金庫会セミナー補助金	300,000	
特別事業費	3,738,000	
各校への支援	1,000,000	
母校の国際交流事業支援	1,200,000	英国派遣生
国際プログラム費	500,000	
文庫資料整備	30,000	
会員名簿整備	-	発行年別会計
(予備費)	300,000	
(小計)	10,258,500	
次期繰越金	20,125,263	
合計	30,383,863	

(3) 事務局費明細

単位(円)

運営助千手当	700,000
交通費	5,000
事務用品費	300,000
通信費	230,000
印刷費	200,000
電器料	140,000
会費運営費	440,000
払込料	300,000
リース料	283,500
雑費	80,000
合計	2,678,500

付1 改築費

単位(円)

前年度繰越金	337,555
プロジェクト(セミナー)	80,000
パソコン(事務用品)	150,000
次年度繰越金	98,555

付2 金庫会創立110周年基金

単位(円)

前年度繰越金	3,072,500
--------	-----------

付3 母校国際交流事業 金庫会奨学金基金

単位(円)

前年度繰越金	600,000
--------	---------

付4 オレンジアワー準備金

単位(円)

前年度繰越金	244,231
--------	---------

付5 120周年記念事業

(1) 収入の部

単位(円)

110周年基金	5,072,500	
120周年協賛金	5,093,000	平成22年度入会費
120周年記念誌	100,000	100周年記念誌制作印刷
120周年会員名簿	4,440,000	120周年記念誌制作印刷
式典・総会(懇親会)	3,040,000	8000円(平成21年度) 6500円
合計	17,745,500	

(2) 支出の部

単位(円)

各校支援事業(レベネー活動)	11,712,360	支払済
120周年記念誌	1,400,000	2221000,37760F-2006
120周年会員名簿	4,440,000	1000冊
式典・総会(懇親会)	4,540,000	
服装・表彰	350,000	
合計	22,442,360	

差引不足額	4,696,770円	平成23年度協賛金に期待
-------	------------	--------------

平成22年度決算報告書

一般会計

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(1) 収入の部

単位(円)

入会金	1,400,000	1,570,000	65000<314名
登録料	1,400,000	1,794,000	
名簿売上	5,000,000	4,972,000	62000<2466名 参考4
会費料用科・他	250,000	263,300	参考5
財団法人金庫会補助金	-	-	
寄附金	-	0	
(小計)	18,050,000	18,600,299	
前年度繰越金	20,028,840	20,028,840	
合計	38,233,840	38,629,139	

(2) 支出の部

単位(円)

運営費	3,378,500	3,637,432	
事務用品費	2,678,500	2,143,640	明細の通り
会議費	200,000	128,300	理事会,評議委員会,青年委員会
雑費	300,000	363,200	卒業式の祝賀会,入学式
一般事業費	3,858,000	3,068,540	
大手前日より発行費	2,500,000	2,144,125	
新入会員歓迎会	450,000	399,900	参考3
1丁間費	600,000	524,817	
特別事業費	3,738,000	2,995,770	
各校への支援	1,000,000	1,000,000	
母校の国際交流事業支援	900,000	436,800	
金庫会セミナー補助金	300,000	163,645	参考1
国際プログラム費	500,000	500,000	研修費支出お断りして100万円
文庫資料整備	30,000	0	
会員名簿整備	30,000	3,250	
(予備費)	300,000	0	
(小計)	19,328,500	17,903,770	
次期繰越金	20,925,240	21,723,863	
合計	39,233,840	39,627,633	

(3) 事務局費明細

単位(円)

運営助千手当	700,000	691,000
交通費	5,000	0
事務用品費	300,000	242,000
通信費	230,000	180,980
印刷費	200,000	149,142
電器料	140,000	109,393
会費運営費	440,000	250,251
払込料	300,000	253,470
リース料	283,500	283,500
雑費	70,000	65,265
合計	2,718,200	2,143,640

付1 改築費

単位(円)

前年度繰越金	337,555	337,555
プロジェクト(セミナー)	191,000	0
パソコン(事務用品)	150,000	142,300
文庫の物品(図書料)	20,799	73,272
パソコンの物販(図書料)	338,000	309,499
パソコン購入口の改修	94,500	0
次年度繰越金	24,800	337,355

参考1 セミナー祝支報告 単位(円)

年会費	222,000	通信費	316,000
寄付	25,000	講演料	300,000
当日会費	800,000	会費費	953,660
総合計	1027,000	合計	40,983
合計	1,310,645	合計	1,310,645

参考2 新年五社礼状支報告 単位(円)

会費	290,000	会費費	240,928
寄付	30,000	通信費	121,242
総合計	320,000	合計	11,014
合計	373,184	合計	373,184

参考3 新入会員歓迎会祝支報告 単位(円)

寄付	55,852	会費費	324,444
総合計	399,900	通信費	110,120
合計	452,649	合計	11,085
合計	452,649	合計	452,649

参考4 名簿売上収支(65000) 単位(円)

購入申込金	11,000	印刷費	5,000
印刷	-	通信費	210
合計	11,000	合計	5,280
合計	11,000	合計	11,000

付2 金庫会創立110周年基金

単位(円)

前年度繰越金	3,072,500
--------	-----------

付3 母校国際交流事業 金庫会奨学金基金

単位(円)

前年度繰越金	600,000
--------	---------

付4 オレンジアワー準備金

単位(円)

前年度繰越金	478,728
120周年アワーのプロジェクト	214,907
本・印刷費	244,231

参考4-1 平成22年度年会費

参考4-2 振り込み年会費

平成22年度年会費	4,888,900	前年度繰越金	630,000
120周年協賛金	5,093,000	120周年,10周年基金	-630,000
120周年,10周年基金	-124,000	今年度協賛金	+134,000
120周年,10周年基金	+293,900	次年度繰越金	234,000
平成22年度分	4,057,900		

2 財産目録(平成23年3月31日現在)

現金	17,381	金庫会施設改善基金	36,123,245
普通預金(三井住友B5(天沼橋))	1,226,644	同上改築費残高	337,555
郵便貯金	18,004,071	次年度協賛金	534,000
(中之島郵便局)	-	オレンジアワー準備金	244,231
金庫会前準備金	21,971,510	金庫会創立110周年基金	5,072,500
同上什器器具	12,151,715	金庫会奨学金基金	600,000
敷居加入権	54,543	120周年記念事業支障金	5,000,000
120周年記念事業支障金	11,712,000	剰余金(期末繰越金)	21,723,863
合計	69,738,484	合計	69,738,484

平成23年3月31日

金庫会 会計理事 田原 由夫
会計理事 平松 美樹

監査報告

このたび平成22年4月1日から平成23年3月31日までの決算について、監査を行いましたところ、適正にして、正確でありましたことをご報告申し上げます。

平成23年4月10日

金庫会 監事 藤部 慶次
監事 真井 昌雄

金蘭会組織

(平成21年度～23年度)

会長	安橋 興二郎
副会長	米田 玲子 上川 庄二郎
会計	田原 由夫 平松 美樹
書記	大鍛治 和美 福味 真樹紅
総務	留井 恵子 安積 香代子 田中 文 瀧美 寿雄 横幕 久治
監事	貫井 昌博 中川 康一

【委員会(理事)】

組織	田中宏幸	委員	木村 定 丹羽 耀平 高橋 仁志	委員	升谷 博 藤原 啓助 辻本 賢
広報	大鍛治和美	委員	石川 温子 瀧美 寿雄 横幕 久治 藤井 浩一	委員	田中 文 野口 幸一 福味真樹紅
事務局	藤原啓助	委員	小田 純子 留井 恵子 小南 典子 藤井 浩一 河井 一晃	委員	山口 高弘 安積香代子 瀧美 寿雄 田中由樹子
会員名簿	石川温子	委員	鴨下 勝子 田原 由夫 野口 幸一	委員	山口 高弘 田中 宏幸
金蘭会文庫	瀧美寿雄	委員	木村 定 小田 純子 平松 美樹	委員	島崎優文子 田原 由夫 藤井 浩一
運営	留井恵子	委員	徳光 清子 上川庄二郎 山口 高弘 安積香代子 田中 文 野口 幸一 平松 美樹 石出 将也	委員	米田 玲子 高橋 仁志 石田 良一 大鍛治和美 小南 典子 横幕 久治 福味真樹紅
行事	安積香代子	委員	升谷 博 鴨下 勝子 明賢 英樹 田中 文 平松 美樹 田中由樹子	委員	高橋 仁志 田原 由夫 大鍛治和美 横幕 久治 石出 将也
広報	福味真樹紅	委員	石川 温子	委員	福味真樹紅
母校支援	升谷博	委員	小田 純子 大川 香理 石出 将也	委員	留井 恵子 佃 雅之 田中由樹子

金蘭会ホールご案内

金蘭会セミナー 第15期報告

期日	月日	講 演 題	講 師	参加者
141回	平成22年 9月17日	「古代中国・紅山文化の魅力」	中川 寿郎氏 元大手前高等学校教諭 *インタビュー・小林一樹氏(S50卒) 読売新聞大阪本社総務課長	97
142回	平成22年 10月15日	「最新の脳卒中治療について」	川口 哲郎氏(S48卒) 関西看護医療大学教授 特定医療法人社団 順心会 順心病院 脳神経外科 顧問	84
143回	平成22年 11月19日	「パレスチナ問題について」	小川 信夫氏(S37卒) NPO法人 パレスチナ子どものキャンペーン副代表	73
144回	平成23年 1月21日	「淀川は大丈夫か! 治水翁・大橋房太郎の奮闘」	小川 清氏(S51卒) 郷土史家 平岡珈琲三代目店主	72
145回	平成23年 2月18日	数え年復活論 …数え年は清年よりも便利で合理的な年齢の数え方である…	鎌田 明彦氏(S37卒) 元京都府職員 金蘭会京都支部副支部長	77
146回	平成23年 3月25日	「釜ヶ崎における健康支援 —大阪府・市民の生活・健康問題を考える—」	遠坂 隆子氏(S35卒) 四天王寺大学大学院 人文社会学研究科教授	98
147回	平成23年 4月15日	「癌について 切らずに治す癌治療 放射線科の役割も含めて」	宮本 武氏(S32卒) 元神戸市立中央市民病院放射線科部長 兵庫県予防医学協会	96
148回	平成23年 5月27日	「講書始で語る—海洋アジア文明交流圏」	立本 成文氏(S34卒) 総合地球環境学研究所 所長	81
149回	平成23年 6月17日	「昭和20年代と新聞連載小説」	森 延 哉氏(S30卒) 元大手前高校国語科教諭	98
150回	平成23年 7月15日	「私たちのくらしと遺伝子」	林 崎 良 英氏(S50卒) 独立行政法人理化学研究所 オミックス基盤研究領域 領域長	未

運営委員会

金蘭会ホール使用要領

1. 使用対象者
金蘭会会員
金蘭会会長又は大手前高等学校長が認めた者
2. 使用可能日時
原則として火、木、土曜日
午前11時～午後4時、午後5時～午後8時
上記以外の日時については事務局にご相談ください。
3. 申込について
①事務局に申込み。
TEL06-6942-3947 FAX06-6942-4124
使用希望日が重複した場合は先着順。
②事務局から申込者に申込用紙を送る。
③申込者は用紙に所定事項を記入して事務局に送る。
④事務局より申込者へ許可証を送る。
⑤許可証を当日持参のこと。
⑥許可、飲食等の出前希望のときは、申込書にその旨を記入のこと。
4. 使用料金

	午前11時～午後4時	午後5時～午後8時
会議室 (30名～50名)	3,000円	5,000円
談話室 (20名～30名)	3,000円	5,000円
5. その他
使用目的が同窓会活動に著しく違反する場合は許可しません。
使用においては学校敷地内であることを配慮のこと。

〈事務局からのお知らせ〉

金蘭会館へお車でのご来館はご遠慮いただいております。
特別に事情がある場合は、事前に金蘭会事務局にご連絡ください。学校と相談してお返事いたします。

金蘭会パソコンスクール

受講問答

パソコンは全くの初めてなのですが・・・
OKです。マンツーマンでお手伝い。
好きなことだけ気楽にやりたいのですが・・・
OKです。テーマは各人自由です。
困った時にだけ 来室に参加というのは・・・
OKです。いつでもお越し下さい。
3時のティータイムの後は孫のお迎えに・・・
OKです。前後半2コマの構成です。



金蘭会パソコンスクール概要 (093.3.31現在)
金蘭会2階ホールにて、月・金に年費6000円開催。
13～17時の4時間、参加費2時間当り500円。
インターネット・メール・ワード・エクセル・デジタルカメラ
・年賀状・名刺・案内状・住所録・用箋・写真加工 等々。
パソコン持参。またはスクールのパソコン使用可。
お申し込みは16名は同窓生のボランティア、交代で夫々の持ち味を生かしながら在籍約50名の受講生をお手伝い。
連絡先 tel/fax 06-6954-1090 (山口)
金蘭会ホームページ <http://kinran.jp/school/>

同好会 ご参加お待ちしております

	身近な法律Q&Aゼミ	俳句ゼミ	スクエアダンス同好会
内 容	身近な法律問題について具体的な事例を3問取り扱います。また、関連する問題についても検討されるので役に立ちます。アットホームな雰囲気です。講師は弁護士さんの解説があり、質問も自由なので助かります。年1回の刑事事件の法廷傍聴会と忘年会も楽しみです。	俳句の基礎知識を学びながら、四季の移り変わりや、日常の暮らしの中での様々な感情を俳句に託す楽しさを味わいます。句会や詩行に参加して作句力を養います。初めての方のご参加大歓迎です。ゼミ当日は持参いただくものは筆記用具、ノート、テキスト本、俳句辞書。参加希望者は下記連絡先にファックスにてお申し込みください。	スクエアダンスで若さと笑顔を保ちましょう。習得すれば、欧米・台湾などでも現地の人とスクエアダンスでの交流が楽しめます。男・女の別なく、中高年にピッタリで、明るく楽しく踊れます。
講師	弁護士 田中宏幸氏(S49卒)	池田泰子氏(S29卒)	インストラクター(コラー) 水澤健一氏(S34卒)
日 時	2/18日、4/15日、6/17日、8/25日、9/19日、10/21日(午後3時～5時) 9/16日は法廷傍聴会のため、大阪地方裁判所にて12時45分～15時(忘年会)12月	1/21日、3/25日、5/22日(紅梅上旬会) 7/15日、9/16日、11/18日	毎月2・4月曜日(8月は休み) 午前10時～12時 詳細は、WEB金蘭会を参照ください。
費用	年会費 5,000円(会場費、資料代、お菓子、忘年会費込み)	年会費 5,000円(開催日にご持参ください。全5回の会場費、資料代、お菓子代等々として)	入会金 1,000円(継続の方は無料) レッスン料 500円/回
お問い合わせ	大原 徳子氏(S26卒) TEL 072-229-1557	講師 池田泰子氏(S29卒) TEL/FAX: 0745-45-1720 幹事 廣田光義氏(S30卒) TEL: 06-6852-6688	小橋敬子氏(S34卒) TEL 090-1132-7389 水澤健一氏(S35卒) TEL 090-9097-7671

第14期皆勤賞

131回～140回セミナー

(敬称略)

得 津 美智子 S16本卒	久保田 和 夫 S29卒
岩 田 和歌子 S16本卒	長 田 澄 代 S30卒
奥 田 美貴子 S20本5卒	繩 手 ケイ子 S31卒
島 崎 優文子 S21高専卒	竹 高 多美枝 S32卒
中 西 由 江 S23本卒	福 岡 繁 S32卒
相 宗 照 子 S25卒	安 橋 興二郎 S34卒
松 岡 弘 次 S25卒	五十嵐 祥 晃 S34卒
福 渡 澄 子 S26卒	留 井 恵 子 S39卒
岸 田 政 子 S28卒	田 原 由 夫 S40卒
三 宅 泰 子 S28卒	栗 原 美 美子 S40卒
瀬 藤 晴 子 S28卒	中 野 佳 昭 S41卒
赤 松 峰 子 S29卒	大 鍛 治 和 美 S46卒
岩 嶋 邦 子 S29卒	田 中 文 S50卒
金 田 昭 子 S29卒	福 味 真 樹紅 S62卒

第16期金蘭会セミナーへのお誘い

- とき 毎月第3金曜日
PM 6:00～7:00 卓話
PM 7:00～8:00 交流会
 - ところ 金蘭会ホール
〈通信費〉年間1,000円(年10回 往復はがき代)
〈参加費〉当日徴収 1回1,000円(軽食費込み)
 - 申込方法……金蘭会セミナーの通信費1,000円を、「大手前だより」に同封の振込用紙にてお振り込み下さい。振り込んでいただいた方に毎月往復はがきにてご案内いたします。出欠はその都度お返事ください。参加費1,000円は当日いただきます。(同件・ピジターは1,500円)
- 予告 第15回セミナー 9月16日(金)
テーマ: 「放射線と原子力」
講 師: 五十嵐 泰人氏(S36卒)
元京都大学放射性同位元素総合センター長
京都大学名誉教授

行ってきました 金蘭会120周年記念クルーズ



120周年記念クルーズ実行委員長
上川 庄二郎 (S29年卒)

金蘭会百二十周年記念行事のトップを切って、去る五月十九日(二十日)にかけて三泊四日で、若手諸君 五島列島クルーズを行いました。

二〇〇六年春、二〇〇六年春に続いて、三回目の大きな行事になりました。他校の同窓会の方々からお聞きした感想ですが、やはり金蘭会が楽しい同窓会なんですね、ということ。これに、安橋会長の強いリーダーシップの賜物と云えるでしょう。

今回は、クルーズ船を前二回の「ふじ丸」からより新しくきれいな「はしらいづみ」に変更、総勢三〇名の参加を得て和気藹々、大きな事故もなく成功裡に終了することができました。参加された皆さまに改めて感謝申し上げますとともに、会員の皆さまにも報告させていただきます。

現在、このクルーズのDVDを作成しております。いずれWEB金蘭会に掲載いたしますが、それまでの間、私の撮影した写真を掲載させていただきますので、ご覧ください。

素晴らしい神戸内のシークエンスを船上から眺めることなく眺め、寄港地では、夫々にオアシショナルツアーを、船内では、金蘭会主催の講話、リサイタルのほか、会員の主宰によるお茶会、俳句の会、フオークダンス、スクエアダンス、コーラスなど盛りだくさんなメニューで大忙しの三泊四日クルーズでした。

十月の総会会場(於：リーガロイヤルホテル)では、選句された俳句と応募いただいた写真の展示も予定しております。ぜひ、総会にもご出席ください。お待ちしております。

各委員会より

IT委員会

IT委員会は金蘭会のホームページ「WEB金蘭会」の運営と「パソコンスクール」の運営(金蘭会館で開催)を担当しています。

IT委員会では、ホームページのアップ作業やパソコンスクールのお助けパソコンなどのボランティアを募集しています。ご協力をお願い致します。

ホームページ

情報公開の場として重要であることから、更に利用し易いものになるように努めております。また各ページ

の内容も最新のものに更新しています。要望をお受けします。委員会のまゝお知らせ下さい。

パソコンスクール

本年度も開催可能な月(金曜日の午後5時~5時に年間合計七十日程度の開講を予定しています。年間共通のテーマとして、各自ワードやA4サイズ作品を作成し、その過程で、ウインドウズやワード2000への対応も学習していくことにしています。

夏期のイベントも継続していきます。出席は随時です。受講者の皆様はそれぞれのテーマを楽しく学んでおられます。

IT委員会委員長 S28卒 藤原 啓助

新入会員歓迎会

昨年九月五日(日)

金蘭会ホールに於いて、平成二十二年卒の新入会員百二十一名の出席のもと、歓迎会を開催しました。



美味しいお料理とケーキや果物、出席者全員への参加賞、先輩会員ご提供の豊富な食品によるゲーム等で、新入会員を歓迎しました。卒業後初めての学年会で、参加して下さった十四名の先生方や同窓生との会話も弾んでいました。今後の同窓会活動への理解と参加につながってほしいと思います。

なお、歓迎会のアルバムを見るためには、次のURLにアクセスしてください。
<http://kinran.jp/shinkan/passworalbum.html>
パスワード shinkan

(行事委員会委員長 S40卒 安橋 香代子)

平成二十三年卒の皆様へ

今年度の新入会員歓迎会を、母校の文化祭の日程に併せて開催します。

日時 平成二十三年九月四日(日)

十二時三十分から

場所 金蘭会館二階 金蘭会ホール
会費 無料

内容 立食パーティー ゲーム
詳細は、往復はがきにてご案内します。

●奮ってご参加ください。
●メールでの申し込み締め切り
八月二十五日(木)

金蘭会ホームページから申し込みます。

★母校支援委員会★

安橋会長が掲げておられる同窓会活動の基本方針の一つに、母校支援があります。この方針を具現していくのが、当委員会の役割です。

現在母校支援の一つは、集中セミナーをはじめとして、母校の独自の教育活動に有効に活用していただくよう毎年行っている年間100万円の支援です。

次に平成15年に始まった、ウェールズ・ベングライズ校との国際交流への支援です。将来国際社会で活躍出来る人材の育成に少しでも役立つようにと始まった支援です。8名の生徒派遣の年には120万円、先方より受入れの年には40万円の支援を行っています。

いずれにせよ、これらの支出は、会員皆様からの年会費並びにご協力いただいた賛助金より支出されるものであります。今後とも、会員皆様の母校の教育活動へのご理解と一層のご支援をお願い申し上げます。

母校支援委員会委員長 S27卒 升谷 博

金蘭会ホームページにアクセスを!

「WEB金蘭会」 <http://kinran.jp>

「今月のPhoto」「金蘭会ここ20年あり」「大手前の今・昔」など多彩なメニュー!

「SPRING」1号から最新号までをUP!
着メロに校歌もダウンロードできます!

質問・相談・意見・提案等の受付
住所等会員情報変更届
会合案内掲載依頼(学年会、支部、クラブOB会等)
今月のPhoto投稿

などは TOPページ左側
「事務局への問い合わせ」から入ってアクセスしてください。

第13回国際グリム賞

蔣風氏(中国)に決まりました



国際グリム賞の最終選考会は、第一次選考委員会で選ばれた六名を対象に、国内外の審査委員(十名)によって採点、一人の授賞候補者を決める会合です。当初、三月十六日に開催予定でしたが、東日本大震災により、それが叶わず四月三十日に延期、その審査会で中国の蔣風氏に決まりました。アジア地域では日本を除き初めての受賞者です。

中国・浙江師範大学名誉教授である蔣風氏(一九二六年生まれ)は、一九五二年から浙江師範大学で教鞭をとり、児童文学研究のパイオニアとして研究を始めるとともに、児童文学研究者の育成のために、一九七九年中国で初めて児童文学研究で修士号を取得できる大学院を同大学内に創設、以降、多くの研究者や編集者を輩出することとなりました。

著書も数多く「児童文学概論」(一九八二)は中国における児童文学研究の初期の理論的かつ実践的入門書として、一九八八年に第一回中国児童文学研究賞を受賞されました。同書は、現在もマレーシアの大学で教科書として使用されています。また、九五〇年代後半から中国児童文学の通史をまとめる活動を意識的に進め、「中国現代児童文学史」(一九八七)を始め数多くの児童文学史を出版されています。加えて「世界児童文学事典」(一九九二)を出版し、世界的視野で中国児童文学を位置づける役目も務められました。

また、世界の玩具の八〇%が中国で生産されている現況に着目し、中国の玩具の長い歴史を踏まえ、初の理論書である「玩具史論」(一九九二)を出版しておられます。この著書は改訂を加えて現在でも出版されており、

さらに、第十回アジア児童文学大会(二〇一〇年十月)の浙江師範大学での開催や、アジア各地で開催されたアジア児童文学大会や日中児童文学シンポジウム(一九八五年)など国際的な大会を通じて、中国の児童文学を積極的に国外へ発信する重要な役割も果たしてこられました。欧米中心の情報が先行している現在、アジアの児童文学を世界に開く役目も担っている貴重な存在の蔣風氏です。

蔣風氏の授賞式、記念講演は、十二月に大阪国際交流センターで開催予定です。大阪市(天王寺区)での開催は初めてです。また、詳細が決まりましたらお知らせいたしますので、金蘭会会員の皆様もぜひご参加下さい。(国際グリム賞担当理事 S.30卒 多田 嘉孝)

学年会だより

あおぎり会

(昭和十九年卒)

今年には気候不順で春の待たれる日が長く感じられました。

あおぎり会の案内状を送送しようと思つて居た矢先、東日本大震災。テレビに報道されるあまりの惨禍に、言葉を失う有様でした。会の開催に對し色々考慮致しましたが、やはり予定通り開く事にしました。四月二十五日当日は、関東から七名、三重県、和歌山県からも出席して頂き総勢二十八名集まりました。

今年の年女の方以外は全員八十五才を迎えますが、懐かしい顔が揃いますと約七十年前の女学生に戻り、足腰弱つておりますものゝあだ名で呼び合ひ話が弾みました。

昭和十六年には真珠湾事件があり、その後も疎開や空襲など激動の時代を生きて来ました。私達は昭和十四年に大手前高女に入学し三年生位までは恵まれた時代であったと思いますが、其の後は悲喜交々の時代を経て現在を迎えていると思います。

楽しい宴も名残を惜しみ乍ら校歌斉唱でお開きと致しました。平成二十四年度の幹事も無事さまり、場所は同じホテルグランビア大阪ときめ、又の再会を約してお別れしました。皆様の御協力のもと、宴会裡に終える事の出来ました事を感謝致します。

幹事 一同
演 惠美子

四期生学年会報告

(昭和二十七年卒)

毎年度の季節が終わり、山々の新緑が美しい頃になると、学年会のシーズンがやってくる。今年も六月二十三日昨年と同じ会場の中津のラマダホテル「花外楼大淀別荘」で、卒業六十年記念の学年会を開催し、元気に出席出来たことを、お互いに喜びあつた。

折しも今年には金蘭会創立百二十周年に当り、色々な記念事業への協力を席上呼びかけました。来年は卒業六十周年と傘寿の祝の節目の年に当り、還暦、卒業五十周年、喜寿につづいての記念同窓会を予定している。出来るだけ多くの方が、お元氣なお顔を見せていただくことを期待して止まない。

升谷 博

六期会学年会のお知らせ

(昭和二十九卒)

昨年は十月三日(日)に、京都在住の皆さまの大変行き届いたお世話で、京都鴨川べりに

ある北京料理の「東華菜館」で学年会を持つことができました。

参加者は八十七名と多く、遠く東京方面からもたくさん来てくださった。楽しいひと時を過ごすことができました。

その当日の出席者に語り、「来年(平成二十三年)は、金蘭会創立百二十周年で秋(十月十六日(日))には記念式典・総会(懇親会)が開催されるし、春にはクルーズも行われるので、学年会はお休みにしよう。その代り、十月の記念式典・総会(懇親会)にできるだけ大勢で参加することにしましょう」と決めました。

記念式典・総会(懇親会)の詳細は、本誌でご覧になつて下さい。

昨年の京都の会に出席されなかつた方々も、ぜひお一人でも多くの参加をお願いします。皆さまとの再会を楽しみにしております。

六期会評議員一同

クルーズ船上で

(昭和三十四年卒)

毎年開催している学年会、今年も例年とは趣向を変えて金蘭会百二十周年記念クルーズの船上で行いました。

参加者は関東からの八名を含めて五十名(本人三十名、家族・友人二十名)、クルーズ全体の二割を超える大勢力でした。

三泊四日の船旅では、二日目の夜に全員が集まって懇親会を開いたほか、メンバーの植村令子さん指導の船上お茶会には十二名の仲間がお手伝い、水澤健一さん指導のスクエアダンスでは十三名が踊りの輪に加わりました。また船上俳句会では特選に選ばれた三句のうちの一が、仲間の上田みどりさんと五十嵐祥晃さんのものでした。

和気あいあいのうちに楽しく無事に終了した記念クルーズは、金蘭会の先輩・後輩の絆をさらに強めました。その中で昭和三十四年卒の存在感を大いに示した今年の「一」会でした。

安橋 典二郎

昭和四十年卒の皆様へ

昭和四十年卒

三月十一日に東日本大震災があり甚大な被害がもたらされましたが、皆様にはお変わりございませんか。昨年は私たちの卒業四十五年目の同窓会を開催いたしました。今年は今金蘭会百二十年周年です。十月に開催される記念総会でお目にかかり、学年でテーブルを囲みませんか。金蘭会百二十年記念式典・総会懇親会の詳細は「大手前だより」に掲載されています。

総会終了後学年懇親会を計画しています。学年懇親会は左記のとおりです。
日時 平成二十三年十月十六日(日)
午後三時三十分から約二時間を予定
場所 リーガロイヤルホテル(大阪)

会費 三千元
(金蘭会百二十年周年記念式典・総会費とは別です。)

ただし、学年懇親会は、会場確保の都合上、金蘭会百二十年周年記念式典・総会に同学年で15名以上出席しないと成立しません。一人でも多くの参加者を募ります。

ぜひ大勢で、金蘭会百二十年周年記念式典・総会と学年懇親会に参加しましょう。

学年懇親会の出席は八月末日までにWeb金蘭会のおすすりリンク集の昭和40年卒学年会ホームページのEメール、または連絡網でお知らせください。

安積 香代子

卒業四十五周年記念学年同窓会

昭和四十一年卒

四月十六日(土)大手前41会の卒業四十五周年記念同窓会を中之島電気会館エル・ガーデンにて開催いたしました。

恩師の石川甲先生と杉野としみ先生にもご出席いただき、総勢七十九名が一堂に集いました。今回は開催時期が三月十一日の東日本大震災

災の直後になったということもあり、東日本方面からの参加者が例年より少なかったようです。まず、大震災の犠牲者又物故同級生への黙祷をささげ、続いて石川・杉野両先生の近況をお聞きしましたが、お二人ともお若く、卒業後四十五年もたてば先生が同級生かの区別がつかないくらいです。

両先生のスピーチの後開宴となりましたが、いつものおなじみの顔ぶれから四十五年ぶりという懐かしい友人たちもそろい、あちこちで歓談の輪がひろがりました。すでに定年退職した人や、まだまだ現役という人までそれぞれの人での出来事や大手前時代の思い出話にあつという間に時間が経ちました。

最後に全員で校歌・自治会歌を歌って、次会の中締めとし、ほぼ全参加者が同じエル・ガーデン内の別室に移って二次会、さらに近くのリバーサイドテラスに場所を変えての三次会へと続きました。当初は二次会までの参加と決めていた人の多くも三次会へ飛び入り参加することになり、大いに盛り上がりました。今回の同窓会は、大震災の直後、人生においては本当に何が起るか分からない、ということを感じさせる時期の開催になりましたが、それぞれ健康に留意し又の再開を期したいものです。

学年幹事

学年同窓会の準備

昭和四十九年卒

すっかり定着してきました昭和49年卒のサイト(SNS)には、学年同窓生以外の人は参加できない仕組みにしていますので、高校当時の気分に戻ってアットホームな交流が行われています。

この記事をご覧になった学年同窓生の中で、新規に参加してみようと思われる方は、遠慮なく下記までお問い合わせ下さい。

早いもので来年は四年に一度の学年同窓会の年です。今年の夏頃から準備の会合を開こうと思ひます。

「手伝ってもらいよ。」という方、大歓迎です。左記までご連絡下さい。準備の会合自体がミニ同窓会になっていて楽しいです。学年SNSでもご連絡いたします。

学年代表評議員 田中 宏幸
TEL06-6630-3005
FAX06-6630-3015

卒業三十五年記念同窓会

昭和五十年卒

卒業三十五年記念同窓会を昨年十一月二十日、大阪・梅田のホテル阪急インターナショナルで開いた。卒業二十年で初めて学年全体の同窓会を開催し、以後、五年おきに集まってきた。今回は夏に準備会を立ち上げ、総勢三十人の大幹事団を組んで臨んだ。出席は同窓百二十人と先生十人。亡くなった同窓十二人と三年の担任の先生のうち亡くなった四人の先生の名前を読み上げ、黙祷を捧げたあと、歓談。今回から名札に一年と二年のクラスも明記し、互いに名札を見ながら、「えーっ、同じクラスやっつた？」と驚く光景も見られた。ステージでは恒例のクラスごとの記念撮影で盛り上がった。音信不通は残念ながら三十人余りいたが、前回の同窓会では音信不通組で、今回「発見」された同窓のほか、横浜から早朝、車を飛ばして参加の同窓、また遠くはベトナムからこの同窓会のために帰国した同窓も。

謡曲「鉢木」についての著書出版された森延哉先生や五、六十年前の中国の紅山文化を研究されている中川寿郎先生にそれぞれの魅力をインタビュー。また、ベストセラー小説「阪急電車」が映画化されるのに合わせ、東宝関西支社長と同窓から文庫「阪急電車」三十五冊が提供され、われもわれもと手が上がる中、ジャンケン大会で勝った人にプレゼントされた。

楽しい時の過ぎ去るの早いもので、予定の二時間半もあつという間。次は還暦前の四十年記念会に。待ち遠しい限りであります。

小林 一則

卒業二十周年学年会

昭和五十六年卒

二〇〇一年十一月二十日シテイプラザ大阪で卒業二十周年の学年会を開催いたしました。今回の同窓会では、当時流行した曲を小川さん(三組)にピアノ演奏をしていただきながら卒業アルバムDVDを上映したり、会途中で二年や三年のブチクラス会を企画したりしました。

いつも宴の最後に校歌を合唱しますが、三十年も経つのに、みんなよく覚えていて、本当に大合唱となりました。

全体写真はどうしてもみんな撮りたくてホテルの計らいで今回の掲載のようになりました。たくさん恩師の方々と同級生総勢二百名余の大盛会となりました。なんと私は五次会まで参加し、長く楽しい一日となりました。

十一クラスもありまして今回の幹事会で初めてお会いする方もあり、何かにつけて幹事会と称して飲み会を開催しました。当日もさることながら、準備の一年間も本当に楽しかったです。次は五年後と幹事会で決まりました。みなさんお元気でご参加ください。なお、当日の写真はインターネットで見ることが出来ます。方法をお知りになりたい方は、同窓会ブログ

「金蘭会昭和三十七年・三十八年生まれ学年会」
http://ocities.yahoo.co.jp/gk/kuhan/s37_s38/
までお問い合わせください。

磯野 まなみ(十一組)



卒業二十周年学年会

平成二十三年卒

平成二十三年三月二十六日、大阪キャッスルホテルにて同窓会を行いました。

卒業二十周年、そして初の学年会という事で、年度末、又、東日本大震災直後にもかかわらず、一八九名の同窓生と六名の先生方に参加いただきました。

二十年という時を感じさせない勢いで会話も弾み、楽しい時間となりました。先生方の話も印象的で、あの頃の先生方の年齢が今の私達の年齢と同じ位、若しくはそれよりも下だったなんていう事に、参加者一同驚いていました。私達の学年は十六クラスもあり、在学当時は話もした事がないという人も多くいまし

支部この一年

南海支部

懇親会

南海支部の本年度の懇親会は、六月十二日(日)に一昨年と同様ハイアット・リージェンシー大阪のゲストハウスにおいて、開催されました。

懇親会には、母校から栗山和之校長先生、金蘭会本部から安橋興二郎会長をはじめとして、大先輩から若手の会員まで幅広くご参加いただきました。

今回は、女性音楽家の岸良 充先生にセッションをテーマにした講演をいただくと共に、有名なシャンソン五曲を聴かせていただきました。

いい気分になった後の会食は、和気あいあいでした。会食の後は、恒例のテーマ対抗「面白クイズ」で、皆さん頭の

たが、この同窓会をきっかけに繋がりをもち、今では連絡をそれぞれが取り合っています。大手前の地と共に三年間過ごした仲間とこれを機会に友好を深めていき、学年会も開催していきたいと思えます。



連絡は左記までお願い致します。

学年代表評議員 田中 由樹子(十四組)

oetama1991@yahoo.co.jp

・豪華な賞品を手にしてほっくり。非日常の楽しい時間はあっという間に過ぎて行きました。

法廷傍聴会

六月十三日(月)に、大阪地方裁判所において、恒例の法廷傍聴会が開催されました。一昨年五月から実施されている裁判員制度もあって、皆さん真剣に刑事裁判を傍聴されていました。

・南海支部ニュースの発行

今年度で第十二号になる南海支部ニュースは、写真を取り込みました。さらに一層充実した内容になりますよう今後とも努力いたします。

・支部入会受付中

南海支部では、金蘭会々員の方なら、居住場所にかかわらず皆さんご参加いただけるよう門戸を開放しております。ご関心がおありの方は、事務局までお問い合わせ下さい。

(南海支部事務局)

〒556-0011

大阪市浪速区難波中3丁目5番4号

難波末沢ビル3階

近鉄支部

田中宏幸法律事務所内

TEL 06-6630-3005
FAX 06-6630-3015

近鉄支部

近鉄支部は一九七五年に設立され、現在に至っています。会員は、主として近鉄沿線の方ですが、特に制限は設けておりません。現在、支部の活動としては一年に一回の総会と、数回の少人数の懇親会や花見の会などを行っています。毎年総会では色々な分野の方々に講演などをお願いしています。昨年は十月十七日に奈良のあやめ池にある料亭あやめ館で行われ、講師にはこの分野では第一人者で、大阪城天守閣元館長の渡辺武先生にお願いして「秀吉の築いた城とその後」の演題で興味あるお話を拝聴しました。

当支部では毎年秋に総会を持っていますが、今年度は金蘭会百二十周年記念式典が有るため、その後に開催しようと思っております。是非多数の方に参加下さるようお願いいたします。今年もまた何か講演を予定したいと考えていますので、現在会員でない方も参加下さい。

なお、当支部へのご連絡、お問い合わせは左記にお願いいたします。

〒631-0024

奈良市百楽園一丁目五番十二号

TEL/FAX 0742-4515973

支部長 S.30卒 高橋 仁志

阪神支部

「悲しみの中にも決まっていることは南々」と行いべし」と判断して開かれた今年の総会は、東日本大震災で亡くなられた方々への黙祷から始まりました。

「催し」は多方面にご造詣の深いS51卒の小川清さんに「居合道」を紹介して

頂きました。「太刀打七本」のお相手はアメリカ人マシュー・クックさんです。静寂の中にお二人の掛け声が源と響き渡りました。外国の方が日本の武道に精通されるのは嬉しい驚きでしたし、あぐら、立て膝の坐り方は本来無作法でない、とこのはれ話も興味深いものでした。

そのあと、クックさんが震災ボランティアとして出掛けられた石巻での映像を見ました。「もう住めない家を丁寧に掃除する人々」「街の臭い」が忘れられない、とクックさん。

人々の哀しみ、惨状が生々しく伝わり、一回復興への末長い支援を心に誓い合いました。会食に移ると、気さくに各テーマを語られる栗山新校長先生に息子?のような親しみを感じ、母校が又一段と身近に感じられるのでした。

同窓の者が相集い共に楽しいひとときを過ごせる、その幸せを再認識した支部総会になりました。

S.37卒 佐々木 欽子

(阪神支部連絡先)

支部長 S.27卒 升谷 博

TEL/FAX 078-413-6647

S.32卒 真辺 和子

TEL/FAX 0798-511-0017

東京支部

東京支部は名古屋以東在住の卒業生が登録、会員数は二六五〇名余に達しています。会員には三月の東日本大震災被災地在住の方もおられ、ご無事をお祈りするとともに情報提供に努めています。

東京支部の活動としては、毎年四月に支部会報「金蘭会トキヨ」を発行、七月に支部総会と懇親会を開催しています。総会・懇親会は毎年五十歳を迎える学年が幹事となって企画、運営されます。昨年は七月十八日に新宿のホテルハイアットリージェンシー東京で安橋会長、原田校長を



来賓にお迎えし
て行われ、一八三
名が出席しました。
席上、出席者で最
高齢の堀朝子さ
ん（S4卒）の白
寿を全員で祝福
しました。イベン
トでは幹事（S54
卒）制作「大手前
なう」（現役大手
前高校生の学校
生活）を上映、皆
東の同高生に若返りながら、スクリーンに
見入りました。

阪急支部

〈阪急支部〉の二年

①平成22年9月4日 総会

（ホテルアイボリーにて）
ゲストに昭和53年卒のシャノンシンガー
中村扶美さんをお招きしてのミニコンサ
ート。流川を歌った「落（みお）」など幅広い
ジャンルの曲目にうっとり。中村さんはま
た、明治の流川治水の功労者で、流川の治
水翁」と言われた大橋房太郎のひ孫にあ
たる。それで「大橋房太郎伝」の著者でも
ある昭和51年卒の小川清さんから、大橋
房太郎の偉業についてのミニレクチャーがあ
りました。

②平成22年10月19日 バス旅行

今回は水郷近江八幡を訪ねた。屋形舟
で巡る水郷めぐり、古い街並みの散策、近
江牛の昼食など楽しい一日でした。

③平成23年2月6日 新年会

（ホテルアイボリーにて）
ゲストに昭和50年卒のジャズシンガー東
洋子さんをお招きしてのミニコンサート。メ
ンバーの方のピアノ、ベース、ウエイオリンのト
リオの生演奏も豪華で、同期の応援隊も大
勢来られて楽しいコンサートでした。

〈今年の予定〉

平成23年9月17日（土）に総会をホテル
アイボリーで開催します。ゲストは異色の
若手落語家「桂福丸」さんの予定です。

〈阪急支部だより〉第3号

平成22年7月に第2号を発行しました。
第3号は今年7月に発行の予定です。「見
て、読んで楽しく」がモットーです。支部の
皆様お楽しみに。

S.37卒 奥本 登

京都支部

京都支部では総会・懇親会を年一回、京都や
滋賀の名刹・名園等を巡り、春または秋の土
日曜に開催しています。昨年は、残念ながら、
皆様の期待に反して適当な場所が見つからず、
開催することができませんでした。

今年、7月10日（日）に京都国際ホテル（堀
川二条城前）で開催します。当日は、祇園祭
の山鉦の組み立てが始まる時で、祇園祭につ
いて、花園大学名誉教授の芳井敬郎先生のお
話とプロのピアノによる演奏を予定してい
ます。京都は大変暑い時期ですが、多数の皆
様の参加を期待しております。

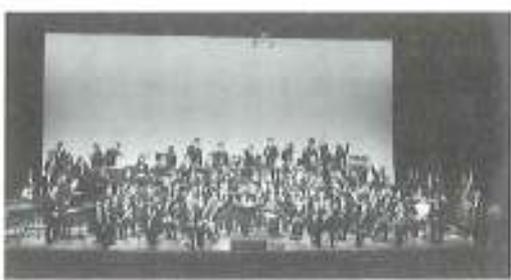
当支部は年会費を頂いておりませんが、ど
なたでも参加して頂けます。案内状を必要と
される方は、速慮なくお申し出下さい。
〒614-8362
八幡市男山美核一丁六

TEL・FAX 075-981-1544
支部長 S.28卒 藤原 啓助

会員からのお便り

☆吹奏楽部 設立四十周年記念 演奏会のご報告

昨年「大手前だより」にてご案内申
し上げましたとおり、二〇一〇年十一月
十四日（日）、爽やかな秋晴れのもと守口市
民会館さつきホールにて吹奏楽部設立四十
周年記念演奏会を開催いたしました。今
回の演奏会のために特別に
編成された卒業生によるO
B吹奏楽団・現役生吹奏楽
部にスタッフをあわせて現
役生から五十代まで幅広い
世代の約一二〇名が携わり、
四十周年記念にふさわしい大規模で華やかな演奏会と
なりました。



当日は会員の皆様をはじめ五〇〇名を
越えるお客様にご来場を賜り、演奏が終
わるたびに温かい拍手を頂き、大変充実
した時間を共有することができました。
この演奏会を機に、吹奏楽部の更なる発
展と大きな節目となる「五十周年」に繋
げていきたいと思っております。今後ともよろ
しくお便り申し上げます。

記念演奏会実行委員長 石田 ゆり（H20卒）

☆緊急のお願い 美術部OB・OGの皆様へ

この度、大手前高校美術部OB・OG有
志の会は、美術部OB・OG会を活性化す
べく総会兼親睦交流会の開催を準備して
おります。年齢の枠をこえたOB・OG会は、
学年同窓会とはまた一味違った意義深い
ものと思えます。しかし美術部は歴史も
長く、そのためOB・OGの中には近況（住
所・名前・電話番号・自己）が不明となっ
ておられる方も多くあり、総会のご案内
を差し上げるのに大変苦慮しております。
そこで今回「大手前だより」の紙面をお
借りして、関係各位に呼びかけしご協力
をお願いいたします次第となりました。何卒
よろしくお便り申し上げます。

- ★ご自身が美術部OB・OGの方、特にS
42年卒（S22生れ）からH22年卒（H4
H5生れ）の方ご連絡ください。
- ★ご友人、お知り合い、ご子息に美術部O
B・OGをご存知の場合、是非情報をお
寄せください。
- ★S52年頃からS62年頃まで（空）とい
うOB会を主宰、参加なさっておられ
た方々、何卒ご連絡ください。
- ★美術部OB・OG有志の会の作業を手伝っ
てくださる方を大歓迎大募集しており
ます。
- ★末輩になって甚だ恐縮でございますが、
高等女学校時代の美術部OB・OGの皆様には
部の歴史を語って頂きたく、切にご
連絡お待ちしております。
- ★★お問い合わせ、ご連絡は
S41卒 森田（TEL/FAX 0742-41-0338）
S35卒 細川（TEL/FAX 074-93-2660）
大手前高校美術部OB・OG有志の会

会員からのお便り

☆欄 蹴 会(サッカー部OB会)

第九回総会(OB戦・親睦会)のお知らせ

平素は欄蹴会の運営に対し、心温まるご支援を賜り有り難うございます。

昨年十月三十一日(日)、堺東立サッカー・ナショナルトレーニングセンターにおいて、天然芝グラウンドを三面使用し、第八回目のOB戦を行いました。心配していた台風も前日には通り過ぎ、十代の現役選手から七十代のOBまで百名以上が参加し、サッカーを楽しみました。旧顧問の尾上顕大先生も参加していただき大いに盛り上がりました。

夕刻よりトレセン内の会議室にて総会を開き、事業・決算報告をするともに、現役チームに作戦板とレフリーフラッグを贈呈しました。その後、レストランを借り切って親睦会を催しましたが、現顧問の荒井充先生、旧顧問の里藤平先生も駆けつけていただき、世代を超えた交流がなされました。【写真はOB戦】

本会創設時より、W杯開催年には天然芝でOB戦を実施したいと考えて参りましたが、このように日本代表チームが練習するような場で、後輩を支援し、我々の親交を深めることができましたのも、偏に会員皆様のご厚情の賜物と感謝しております。

さて、今年度の第九回総会・OB戦・親睦会は、十一月十三日(日)、母校で開催する予定です。九月頃に改めて詳細のご案内を差し上げますが、できるだけ多くの方が参加されますことを願っております。欄蹴会のブログ(「蹴る蹴るボール」

<http://www.kousyukai.or.jp/kyouji.htm>にも掲載しますのでアクセスしてみてください。

また、月

例の練習会も、六月で第四十四回目を迎えました。毎回、十代から七十代まで、およそ二十〜三十人が参加し、それぞれ自分のペースで楽しんでいきます。基本的には電子メールでのご案内ですが、右記のブログでも確認できます。奮ってご参加ください。

なお、今年度(平成二十二年十一月から平成二十三年十月)

の会費(三千元)をまだ納入されていない方は、是非とも納入して下さいますようお願いいたします。できれば、賛助金(一口千円、何口でも可)も併せてお願いします。(振込口座は、郵便貯金口座番号09200121245834、欄蹴会)となっております。

今後とも、後輩たちの支援と欄蹴会の発展のため、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。



※ご自身ならびに同輩などの情報提供、お問い合わせなどは左記までお願い致します。

TEL:06-6874

吹田市古江台5-3-13 308

TEL&FAX: 06-6832-1987

メールアドレス: nagai31@nagai.or.jp

野口 幸一(S54卒)

☆バレーボール部 OB・OG会

昨年10月24日(日)に開催しましたバレー部OB・OG会を今年も左記のとおり、開催いたしますので、ご予定下さい。

今回も幅広くご案内させていただくため、名簿の整備・拡充に取り組んでいます。昨年度、案内がなかったというOB・OGの方は、左記の世話係までご連絡下さい。10月頃には案内させていただきますので、皆さんお誘い合わせの上、奮ってご参加お待ちしております。

記

日時 平成23年11月27日(日)12:00

場所 ガーデンシティクラブ大阪

(TEL:06-6343-7770)

大阪市北区梅田2-5-25

ハピネスOSAKA 6階

(世話係)

木野 豪 (S31卒)

TEL:090-1079-8571

吉田 康一(S37卒)

TEL:FAX:072-851-1894

長野 隆司(S38卒)

TEL:FAX:0742-611-9228

田中 宏幸(S49卒)

TEL:06-6630-3005

FAX:06-6630-3015

田中 宏幸(S49卒)

☆フォークダンス部

新緑の美しい季節となりました。



大手前金

蘭会会員の

方々と、フ

ォークダン

スレッスンを

を始めてま

して今年で10

年目を迎え

ました。

月々のレッス

ンを続けてまいりましたが、年令や体

力的にも衰れやすくなり、又、クルージ

ングも無事に終えましたので、5月を最

後にレッスンをクローズすることに致し

ました。

色々、ご協力いただきましたまして、有難う

ございました。お礼申し上げますと共に

長年続けられました事を感謝しております。

最後に金蘭会の皆様、そして運営委員

会の皆様には大変お世話になりました。

ございました。

FDC 大手前

講師(S27卒) 太田 哲子

当番 渡士、山口

編集後記

この度の東日本大震災には、本当に胸が痛みます。一日も早い復興を祈っております。広報は、百二十周年記念誌の編集も同時並行で進めたため、時間的にも体力的にも厳しいものがありました。無事発行できたのも、皆様のお陰と感謝しております。(天)

